

令和7年11月14日
保健福祉政策部

避難行動要支援者支援事業の進捗について

1 主旨

区では、令和4年4月に「世田谷区避難行動要支援者避難支援プラン」の改定を行い、避難行動要支援者（以下、「要支援者」という）の支援に取り組んできた。

令和7年度の「避難行動要支援者個別避難計画」（以下、「計画」という）の作成に関する取り組み等について、その進捗状況を報告する。

※参考 避難行動要支援者

- ①要介護4又は5に相当する者
- ②ひとり暮らしの高齢者又は高齢者のみ世帯で要介護3に該当する者
（近隣に常時その者の様子を知り得る親族がいる者を除く）
- ③身体障害者手帳1級で次の種別に該当する者
視覚、四肢、体幹、半身、両下肢、片下肢、移動、聴覚
※聴覚は2級までを対象とする。
- ④愛の手帳1度又は2度の者
- ⑤精神障害者や難病の者等のうち区長が特に必要と認めた者

2 個別避難計画作成の進捗状況

令和4年度より、発災時の安否確認・避難勧奨が円滑に進むよう、要支援者を対象に計画の作成を行ってきた。

令和6年度は、転入や要介護認定・障害認定等による新規対象者及び計画未作成者に対し、郵送及び訪問等の調査委託により計画の作成を行った。

また、計画未作成者のうち、多摩川洪水浸水想定区域内（風水害・震災）に居住する要支援者及び、多摩川洪水浸水想定区域外（震災）で※地域危険度の高い町丁目に居住する要支援者から順次、居宅介護支援事業者等による訪問調査委託を開始した。さらに、令和6年12月より居宅介護支援事業者等以外の訪問調査委託を行った。（受託者：株式会社グッドパートナーズ）

令和7年度も引き続き郵送及び訪問等の調査委託により計画の作成を推進する。

なお、郵送及び訪問調査による調査数・計画作成数については別紙のとおり。

※地域危険度とは、都内の市街化区域の5,192町目について、地震に関する危険性を建物倒壊危険度、火災危険度、災害時活動困難係数及び総合危険度で示したもので、それぞれの危険度について、町丁目ごとの危険性の度合いを5つのランクに分けて、都が相対的に評価している。区内に総合危険度5の町丁目は無いため、総合危険度4の町丁目から訪問による調査を開始している。総合危険度4の町丁目は、北沢5丁目、経堂2丁目、祖師谷1丁目、祖師谷5丁目、太子堂5丁目、羽根木2丁目、船橋1丁目、松原1丁目、松原3丁目。

また、震災時における在宅避難のあり方との整合性を図り、作成する計画を実効性のあるものとするため、調査項目及び計画書に記載する項目の見直しを行い、令和7年10月31日に発送の調査票より新様式に変更した。旧様式で計画書を作成済みの要支援者に対しては11月7日に新様式の調査票を送付し、得られた回答をもって計画の更新を行う。

3 今後の取組み

(1) 新規対象者・計画未作成者への調査及び計画の作成

令和7年度においても、新規対象となった要支援者（新たに介護認定・障害認定された者・要介護度の変更があった者・転入者等）及び計画未作成者に対し、郵送による計画の作成支援に関する取り組みを進める。

郵送による調査に返信のない方へは、ケアマネジャーなどの福祉の専門職による訪問等の調査に加え、事業者による訪問調査委託も継続し、計画の作成を行う。

(2) 福祉の専門職との連携促進

地域ケア会議等において、地域の福祉の専門職の協力が得られるよう引き続き取り組む。

なお、福祉の専門職との連携を促進しながら、調査票未回答者に対する計画作成支援を居宅介護支援事業者等に委託することにより計画作成数の増加や計画内容の充実を図る。

また、調査票の「避難時の支援者」欄が未記入等の計画についても、福祉の専門職や庁内及び関係機関とともに対応策について検討を進めていく。

(3) 地域づくり等の促進

引き続き、地域振興課をはじめとする庁内及び関係機関とともに地域関係者への理解促進を進める。

また、社会福祉協議会の地域ボランティアやボランティア協会の災害ボランティアとも連携協力していく。さらに、防災塾等において町会・自治会や防災区民組織、民生委員等の地域活動団体と要支援者の支援について検討する。

4 今後のスケジュール（予定）

令和7年 12月	個別避難計画兼調査票（震災）勧奨通知発送_12月回答期限
令和8年 3月	個別避難計画（震災）発送

(別紙1) 郵送および訪問調査による調査数・計画作成数

令和7年10月31日時点

(単位：人)

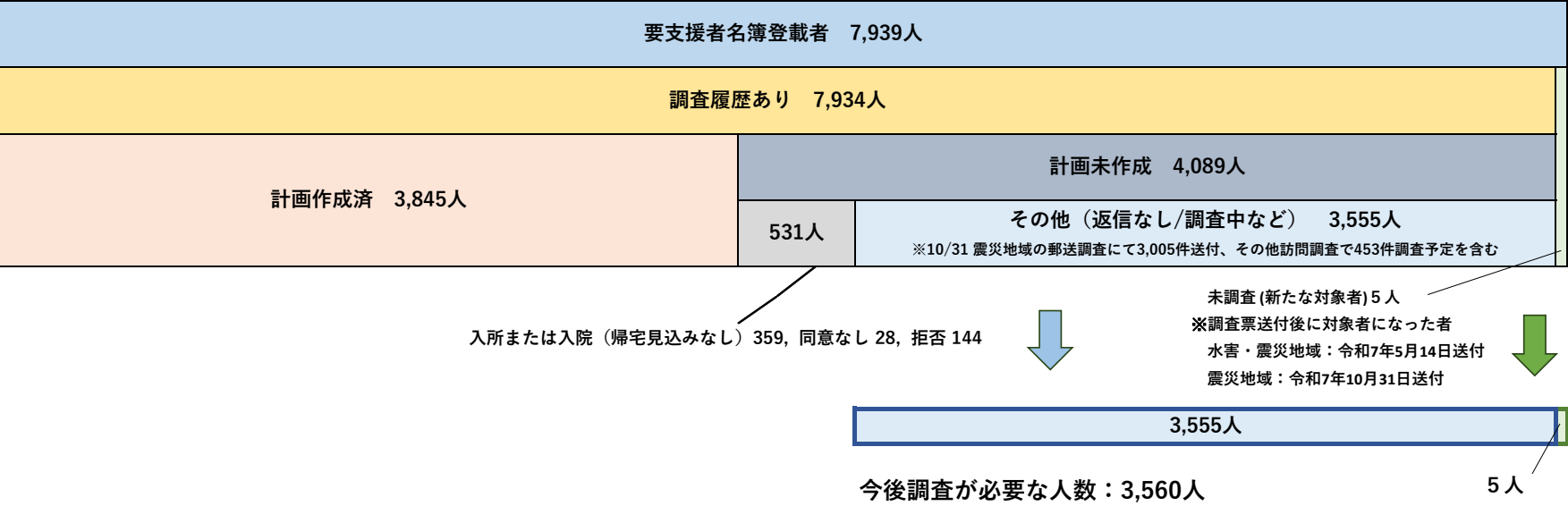
年度	調査手法	世田谷		北沢		玉川		砧		烏山		5支所合計	
		調査対象	計画作成	調査対象	計画作成	調査対象	計画作成	調査対象	計画作成	調査対象	計画作成	調査対象	計画作成
令和4年度	郵送	—	—	—	—	(243)	(160)	(303)	(160)	—	—	(546)	(320)
令和5年度	郵送	2,168	1,138	1,403	737	2,040	1,128	1,748	1,030	1,093	624	8,452	4,657
						(269)	(164)	(309)	(195)			(578)	(359)
令和6年度	郵送	1,135	439	729	297	1,060	464	798	344	560	244	4,282	1,788
						(119)	(62)	(106)	(47)			(225)	(109)
	作成支援委託 (居宅等)	1	1	9	5	21	8	53	30	0	0	84	44
						(21)	(8)	(44)	(21)			(65)	(29)
	作成支援委託 (居宅等以外)	18	0	36	0	12	0	23	5	1	1	90	6
						(10)	(0)	(9)	(1)			(19)	(1)
	年度計	1,135	440	729	302	1,060	472	798	379	560	245	4,282	1,838
						(119)	(70)	(106)	(69)			(225)	(139)
令和7年度	郵送	842		551		778	35	628	35	436	0	3,235	70
						(103)	(35)	(127)	(35)			(230)	(70)
	居宅・相談	0	0	0	0	17	0	42	10	0	0	59	10
						(17)	(0)	(42)	(10)			(59)	(10)
	その他訪問	144	0	86	0	101	0	83	0	39	0	453	0
						(0)	(0)	(0)	(0)			(0)	(0)
	年度計	986	0	637	0	896	35	753	45	475	0	3,747	80
						(120)	(35)	(169)	(45)			(289)	(80)

()カッコ内は多摩川浸水想定区域内の件数 (内数)

(別紙2)

避難行動要支援者名簿登載者全体にかかる計画作成状況

※令和7年10月31日時点データより



48.4%	=	要支援者名簿登載者 7,939人	に対する	計画作成済み 3,845人	の要支援者の割合
48.5%	=	要支援者名簿登載者 7,939人	から	未調査（新たな対象者） 5人	を除いた 計画作成済み 3,845人 の要支援者の割合
51.9%	=	要支援者名簿登載者 7,939人	から	(未調査（新たな対象者） 5人 と 入所・入院,同意なし,拒否 531人)	を除いた 計画作成済み 3,845人 の要支援者の割合

世田谷区 避難行動要支援者

個別避難計画
作成のための
調査票

【個別避難計画の作成に係る同意】

私は、災害発生時に安全に避難するため、区がこの調査票に記載された内容を個別避難計画として作成することについて
☐ 同意します ☐ 同意しません ➡ 調査はここからです。(以下に記入日、記入者を記入して返送ください。)

【個別避難計画の情報共有に係る同意】

私は、個別避難計画を、区が支援者や福祉専門職等と共有することについて
☐ 同意します ☐ 同意しません

記入日：令和 年 月 日 記入者： 本人との関係：()

上記住所に いない場合		☐ 施設・病院等に入所・入院中（名称： ） 退所・退院の見込み ☐ なし ☐ あり（ 年 月頃予定）			
ご本人	フリガナ 氏 名		年 齢	生 年 月 日	性別
固 定 電 話					
携 帯 電 話					
ファクス(FAX)					
介 護 認 定					
障 害 者 手 帳		身 体 愛の手帳 度			
医 療 的 ケ ア		☐ 医療的ケアを要する（ ）			
生活上の支援		移 動	☐ 自立 ☐ 一部介助 ☐ 全介助		
		食 事	☐ 自立 ☐ 一部介助 ☐ 全介助 ☐ アレルギーあり（ ）		
		排 泄	☐ 自立 ☐ 一部介助 ☐ 全介助		
		着 脱 衣	☐ 自立 ☐ 一部介助 ☐ 全介助		
		ものわすれ	☐ ない ☐ ときどきある ☐ ある		
		視 力	☐ 見える ☐ 目の前が見える ☐ ほとんど見えない ☐ 見えない		
		聴 力	☐ 聴こえる ☐ 大きな声は聴こえる ☐ ほとんど聴こえない ☐ 聴こえない		
移動時の車いすやストレッチャーの使用状況		☐ 車椅子を使用 ☐ ストレッチャーを使用			
常 備 薬 が 必 要 な 疾 患		☐ 心疾患 ☐ 脳血管疾患 ☐ 高血圧 ☐ 糖尿病 ☐ その他			
主 っ け か り つ 医 療 機 関	名 称				
	担 当 医				
	住 所				
	電 話				
家 族 構 成		☐ ひとり暮らし			
		☐ 同居家族あり（ ☐ 本人以外の家族は 65 歳以上の高齢者のみ） 本人含めて避難する人数 人			
ペットについて		☐ なし ☐ あり※避難所に連れていく場合の管理はご自身でお願いします。			
住 居 の 種 類		☐ 戸建て ☐ 集合住宅			

相 談 先						
居宅介護支援事業所（介護）						
相 談 支 援 事 業 所（障害）						
主な利用しているサービス						
1 箇 所 目	種 別	☐ 通所 ☐ 訪問 ☐ 短期入所	2 箇 所 目	種 別	☐ 通所 ☐ 訪問 ☐ 短期入所	
	名 称					
	住 所					
	電 話					
時 間 帯			☐ 午前 ☐ 午後 ☐ 夜間	時 間 帯 ☐ 午前 ☐ 午後 ☐ 夜間		

緊急連絡先（親族）					
1 人 目	フリガナ		続柄	フリガナ	
	氏 名			氏 名	
	電 話			電 話	
	所在地の 市区町村			所在地の 市区町村	

親族以外の支援者					
※区に情報提供することについて、支援者の了解を得たうえで記入してください。					
1 人 目	フリガナ		関係	フリガナ	
	氏 名			氏 名	
	電 話			電 話	
	所在地の 市区町村			所在地の 市区町村	

◆ 避難先について

大 地 震 時	安全な 自宅が 場合	在宅避難	※自宅が安全な場合は在宅避難をしましょう		
		建物の状況	☐ 木造 ☐ コンクリート造 ☐ 鉄骨造 ☐ その他 ☐ 不明		
		室内の状況	☐ 転倒や落下する家具等がない ☐ 転倒や落下する家具等がある		
	倒壊や火災で 自宅では 過ごせない 場合	指定避難所	移動手段	☐ 徒歩 ☐ 車いす ☐ 自家用車 ☐ タクシー ☐ 寝台タクシー ☐ その他	
		☐ 親族宅や、 施設等の 避難先 がある	名 称 等		
			所在地の 市区町村		
			電 話		
			移動手段	☐ 徒歩 ☐ 車いす ☐ 自家用車 ☐ タクシー ☐ 寝台タクシー ☐ その他	
		☐ 知的障害・精神障害等により集団での避難生活が困難なため、個室や小集団で過ごすスペースなどの配慮が必要			
	備蓄の 状況	☐ 3日以上以上の食糧を備えている			
☐ 3日以上以上の生活用品を備えている					
☐ 常備薬を備えている（ 日分） ☐ お薬手帳（ ☐ 有 ☐ 無）					